

# 文化財の 英語解説について



京都国立博物館  
リンネ マリサ

Melissa M. Rinne  
Kyoto National Museum



# 2019 ICOM General Conference in



## KYOTO

The heart of Japan,  
Where museums, World Heritage Sites,  
landscapes, architecture, and gardens  
are concentrated in just 10 km<sup>2</sup>





# 従来の英文解説

- ・ 和文がメイン、英文がサブ
- ・ 和文が完全、英文がその一部のみ
- ・ 英文が日本語から翻訳されている

# 英文解説の目的はなに？

- ・ 目の前にある文化財をよく観察すること
- ・ 文化財をより理解していただくこと
- ・ 文化財となんだか心や頭に残るつながりを作ること
- ・ 文化財と接する経験を面白くし、豊かにすること

# 従来の英文解説の問題点

- ・ 全体の一部しか翻訳されていないため、肝心な情報が抜けている
- ・ 日本人にとって当たり前情報は言葉にされていない(例えば、江戸時代はいつ?)
- ・ 外国人観光客がもっとも知りたい情報は入っていないことが多い(例えば、どのように生活に使われていた?)
- ・ 複雑な情報が多すぎ、読む気にならない

# 面白くない英文解説の秘密

- ・ 日本語からの直訳にこだわること
- ・ ネイティブでない、専門性のない翻訳者や編集者を依頼すること
- ・ 教育的な立場を重視し、外国人の単純質問を考えないこと

(例えば、秀吉ってだれ?)



# 外国観光客にとって面白い解説の 作成簡単なコツ

1) 文章力の良い英語ネイティブの専門家によって執筆してもらうこと

あるいは

2) 文章力のつよい英語ネイティブの専門家によって翻訳してもらうが、かなり編集する権威をあたえること

# 英文のデザインの重要性

- ・ デザイン・インタフェースによって、書いている内容のアピールがアップされる
- ・ 英語の良いグラフィックデザインはフォントの選択・文字扱いなどから日本語と異なることが多い。英字に慣れたデザイナーにフォントなどデザイン基準を決めてもらうとより見やすくなる

# つまり英文解説は理想的に

- ・ 長すぎない
- ・ 複雑すぎない
- ・ ネイティブによるわかりやすい文書
- ・ ユーザの立場を考えた内容
- ・ 見やすい、きれい

# 結論

- ・ 執筆者・翻訳者の英語文書力と専門性は肝心
- ・ 文化財の英文解説プロジェクトのさまざまな作業のなかに、もっとも重要なのはいい執筆者・翻訳者を集めること
- ・ フォントやレイアウト(デザイン)を重視すること